

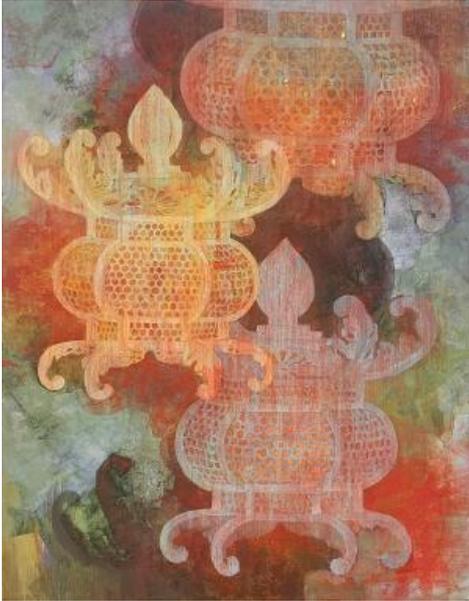
安佐南区役所芸術展示 作品解説

【本作品の展示期間：2023年3月から約1年間】

日本画展示作品「燈」

村上 明花里 (MURAKAMI Akari)

F 6号 <材質>土佐麻紙、岩絵具、箔



熊本の伝統工芸品である山鹿灯籠をモチーフに制作しました。実際の灯籠は和紙で作られており、とても軽く繊細な紙細工です。ひとつひとつ職人の手によって作られたこの形は、精巧でありながらとても温かみを感じます。この作品では、灯籠の幻想的な光と造形の美しさを日本画の色彩で表現しました。角度によって下地の箔の光沢が灯籠と重なって見えるところに注目してみてください。

油絵展示作品「愛慕」

石野 さくら (ISHINO Sakura)

W 0号 <材質>キャンバスに油彩



この作品は「J」という連作の一部です。連作「J」は物語のような形式で七枚のキャンバスによって構成されています。

その中でも「愛慕」は空港からの移動中、「J」が車窓から見た水田の景色を描いた作品です。日本は、彼の好きな人が住んでいる国。思わず息を吞んでしまうような感動と美しさが溢れる空気感を、淡く眩い色調とともに描きました。

工芸展示作品「gleam」

橘 あさ (TACHIBANA Asa)

<材質> 銀、七宝 (チョウトンボのみ)

プラチナコガネ : H20mm×W80mm×D45mm / チョウトンボ : H20mm×W120mm×D140mm / ハナカマキリ : H90mm×W40mm×D70mm



灰暗い森の中、きらりとひかる。

日の目を浴びることが少ない彼らも、今朝は主役。

思い思いの衣装を纏い、わたしたちと共にある。

生活のそばにひっそりと息づく昆虫たち。遙か昔から生きのびてきた彼らの造形には、目をこらしてみると宝石のような美しさがあります。そんな昆虫たちにスポットを当て、ジュエリーに仕立てました。関節が自由に動く自在置物式にすることで、そのものらしさを表現すると同時に身につけるものとしてのシルエットの変化も楽しめます。自然が育んだもの、普段は目を向けない大切なものに気がつくきっかけとなるようお願いをこ

彫刻展示作品「ふくらむ、しぼむ」

畠中 沙和 (HATANAKA Sawa)

<材質> 大理石、ウレタン

(ふくらむ) 縦 10.5×横 10.5×高さ 12cm、(しぼむ) 縦 10×横 5.5×高さ 3.5cm



「ふくらむ」は水に浮かんだ空気の満ちた水風船をモチーフとしています。割戻しの技法を使い中にウレタンを詰めており、実際に水に浮かせることが出来ます。

「しぼむ」は1度ふくらませた風船が時間の経過によって萎んでいく姿をモチーフにしています。時が経つ事によって形が変化してしまう風船の時間を留めるために大理石を素材として制作しました。